施工説明書

2010.5

TOTO

リモデル便器

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全に関するご注意（安全のために必ずお守りください）

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表　示	意　味
⚠注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

⃠	⃠は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「禁止」を示します。	❗	❗は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

⚠注意

禁止	**便器に強い力や衝撃を与えない** 便器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
	給水フレキホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで、傷をつけない 給水フレキホースが破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
必ず実行	**設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する** 正常な取り付けができなくなる可能性があります。
	設置工事は、この説明書に従って確実に行う 故障や水漏れの原因になります。
	フィルター掃除をするときは、必ず止水栓を閉め、タンクの水を流してから行う 水圧でフィルターが飛び出してくることがあります。

同梱部品

※部品があるか、下表を参照して確認してください。

便器本体	排水アジャスター		
	便器接続部	横引管	床フランジ接続部
(1個)	(1個)※ゴムジョイント付き	(1個)	(1個)

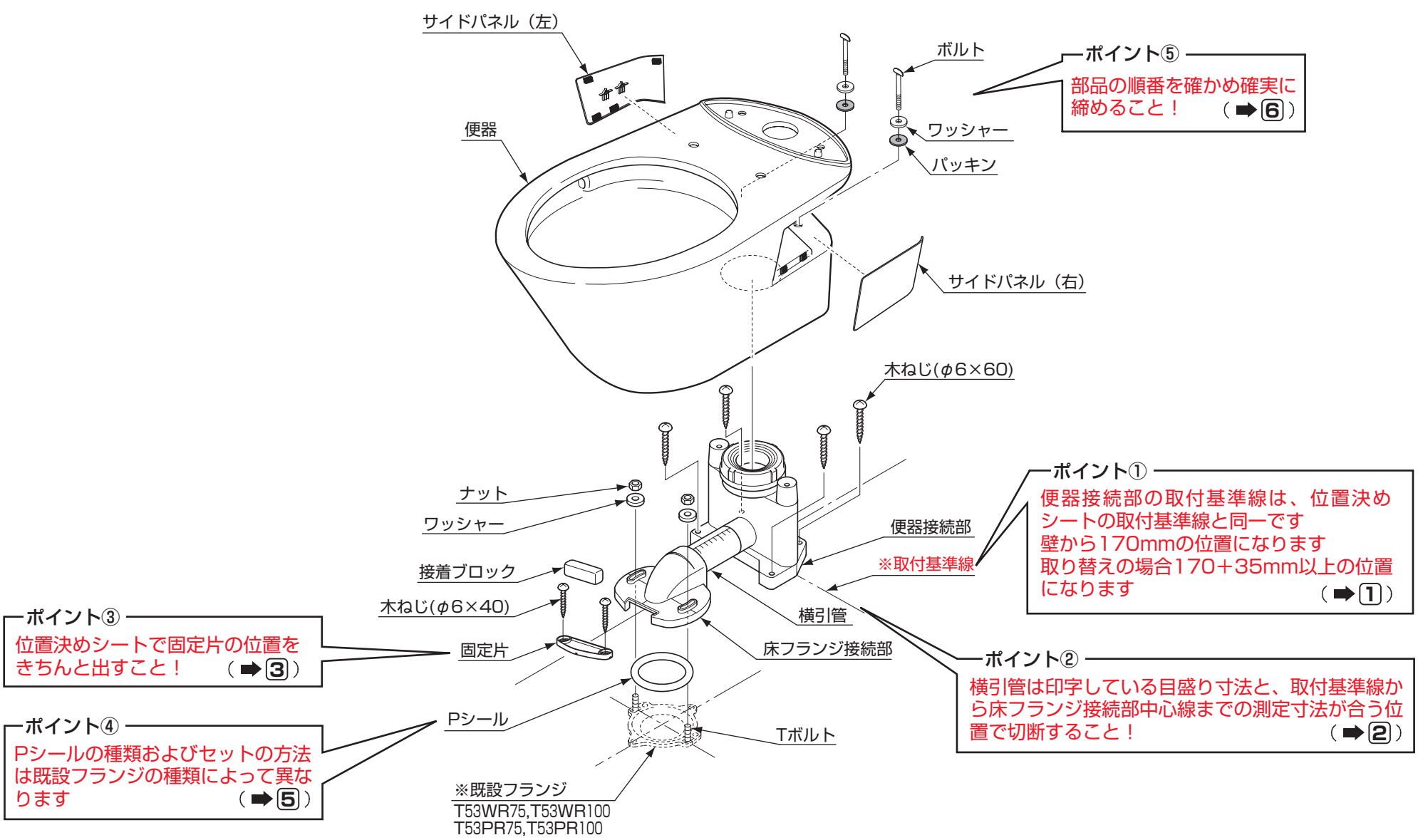
Pシール		サイドパネル		その他	
金属フランジ用	樹脂フランジ用				
【補修品番：TH633】(1個)	【補修品番：TH633-3】(1個)	サイドパネル(左)(1個)	サイドパネル(右)(1個)	位置決めシート(1枚)	施工説明書(1枚)

固定片・固定金具類

木ねじ(便器接続部用)(φ6×60：4本)	ボルト(2本)	ナット(2個) ワッシャー(床フランジ接続部用)(2個)	固定片(1個)	木ねじ(固定片用)(φ6×40：2本)
ワッシャー(後部固定用)(φ22：2個)	パッキン(2個)	Tボルト(2本)	接着ブロック(1個)	接着ブロック注意書(1枚) ※クラフト紙に印刷しており、接着ブロックを包んでいます。

※[　]の部品は補修部品として、購入できます。

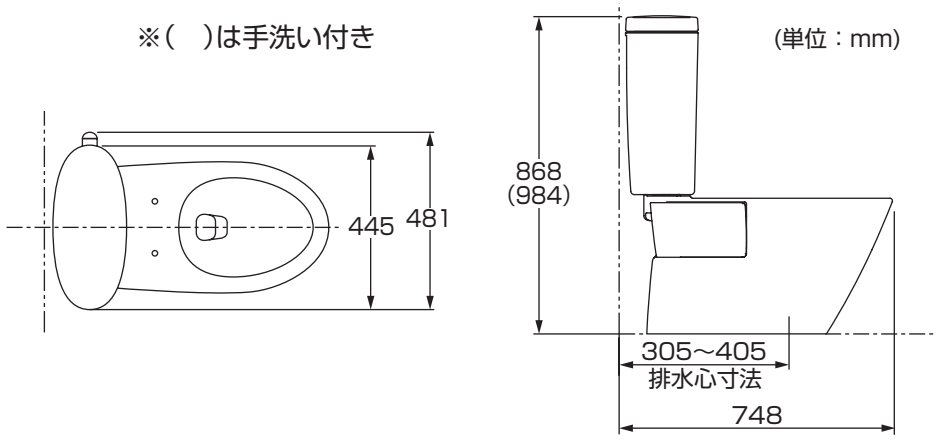
各部のなまえと施工のポイント



完成図

※(　)は手洗い付き

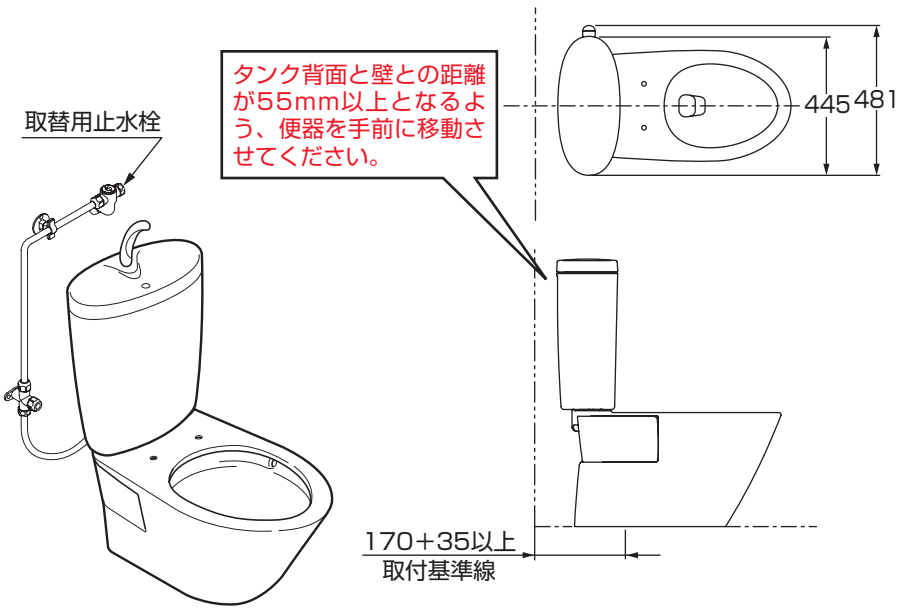
(単位：mm)



給水位置・排水位置については、**施工前のご注意** をご覧ください。

〈取替用止水栓がタンクと接触する場合〉

(単位：mm)

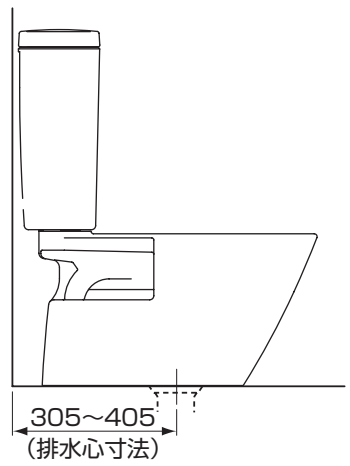


詳しくは、「 3. 取替対応可能給水位置 」をご覧ください。

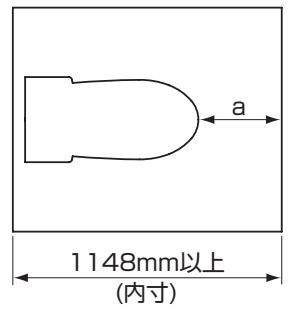
施工前のご注意

(単位：mm)

1. 取替対応可能排水心寸法



2. トイレブース奥行き必要寸法



注1. 取り替え前の便器の排水心が305mm~405mmの範囲であることを確認してください。

注2. 止水栓取付位置がタンクの裏側にありタンクと接触する場合は、便器を壁から離す必要があるため、対応可能排水心ならびにトイレブース奥行き必要寸法が異なります。

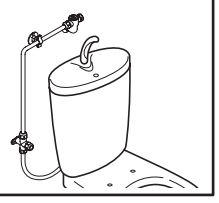
注3. a寸法は標準400mmとなっておりますので、この寸法を確保できない場合は、狭くなることを事前にお客様にご了承いただいたうえ、設置願います。

注4. ドアの開閉に支障のないことをご確認ください。

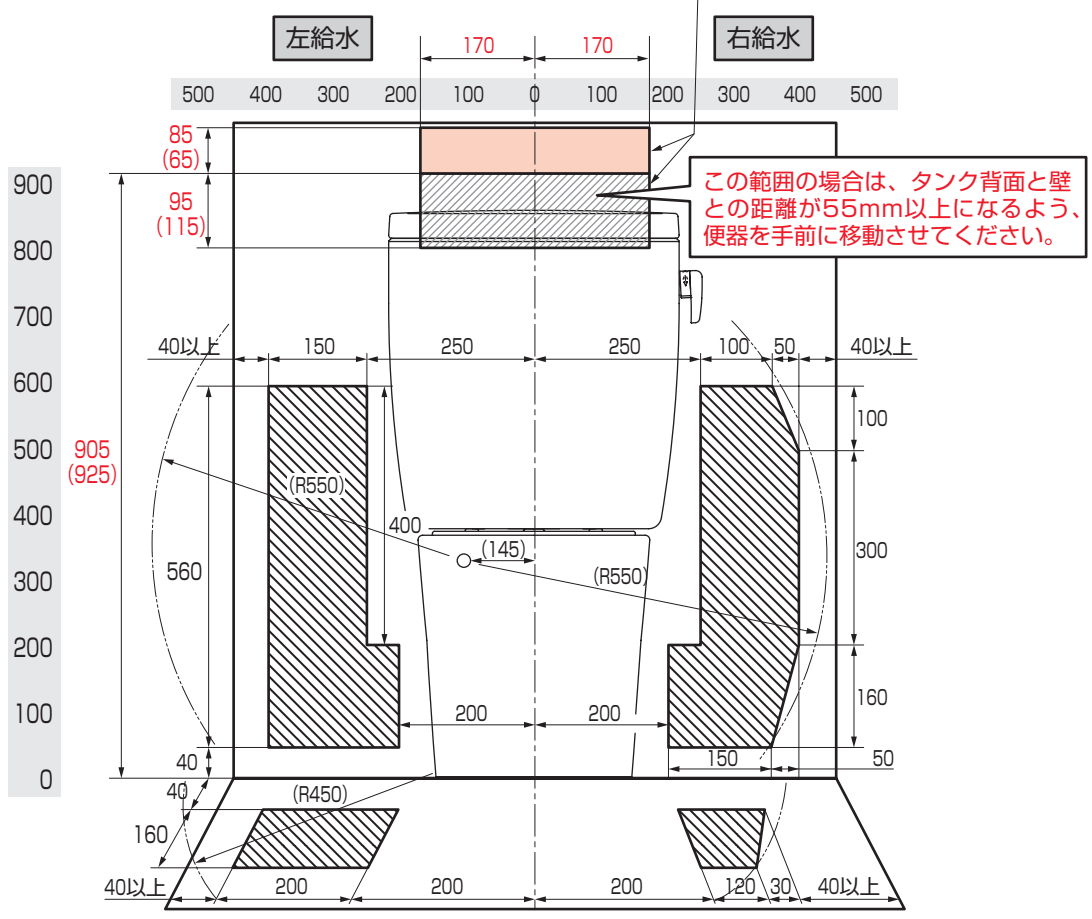
3. 取替対応可能給水位置

(単位：mm)

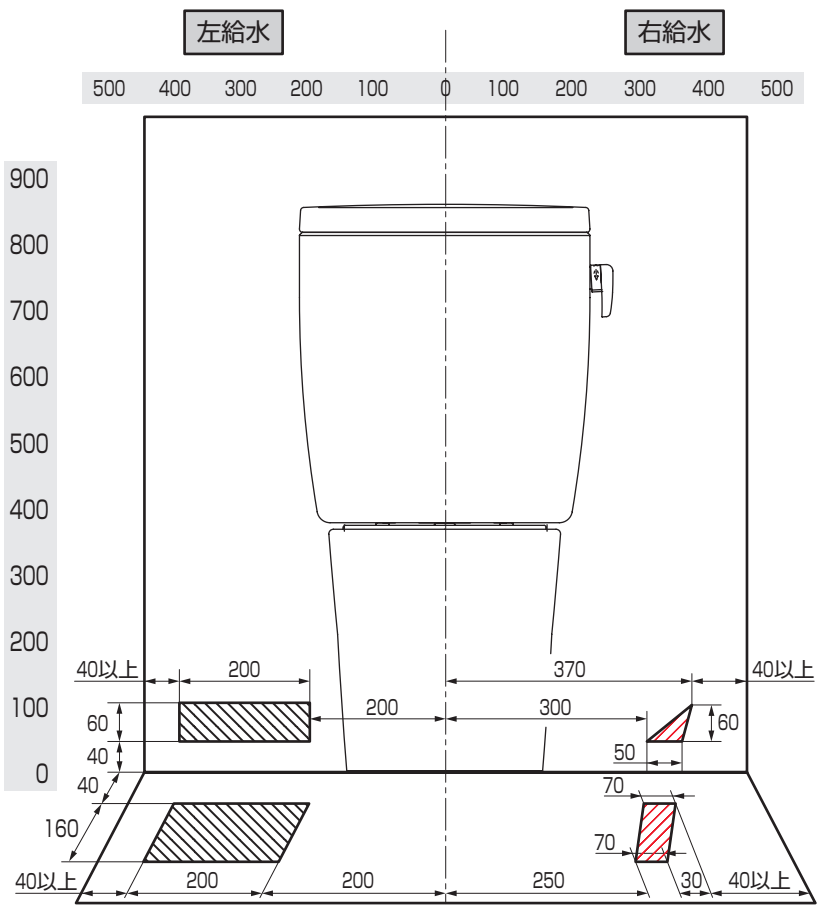
〈壁〉
C21・C21R・C21N
〈下記寸法部分〉
※上段寸法は手洗いなし、(　)寸法は手洗い付きとなります。
→リモデル専用止水栓TS91FUを使用します。



〈一般地・流動仕様の場合〉



〈水抜き仕様の場合〉



水抜き仕様　左給水

水抜き仕様　右給水

裏面につづく➡

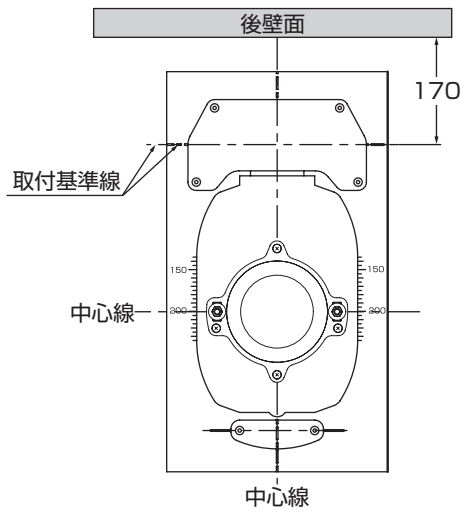
取付方法

1 位置決めシートの位置決め

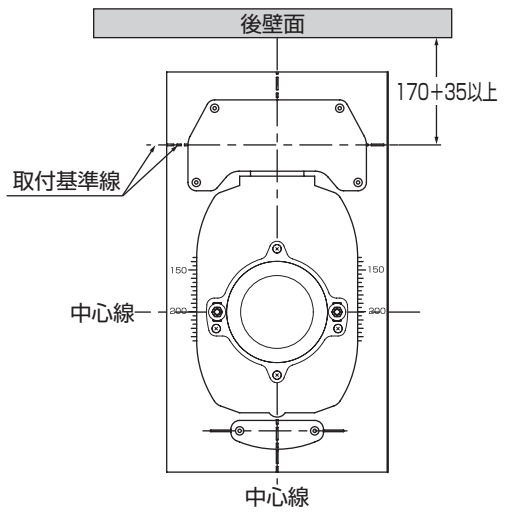
❶排水管の中心を出して、床面に排水管中心線をけがく。

❷後壁面から170mmの位置に取付基準線をけがき、その線に位置決めシートに示した取付基準線が合うようにして位置決めシートを置く。

（単位：mm）



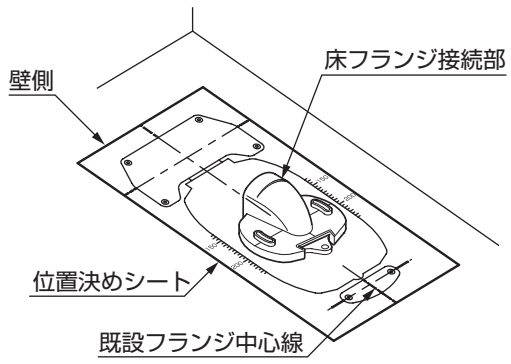
＜取替用止水栓がタンクと接触する場合＞



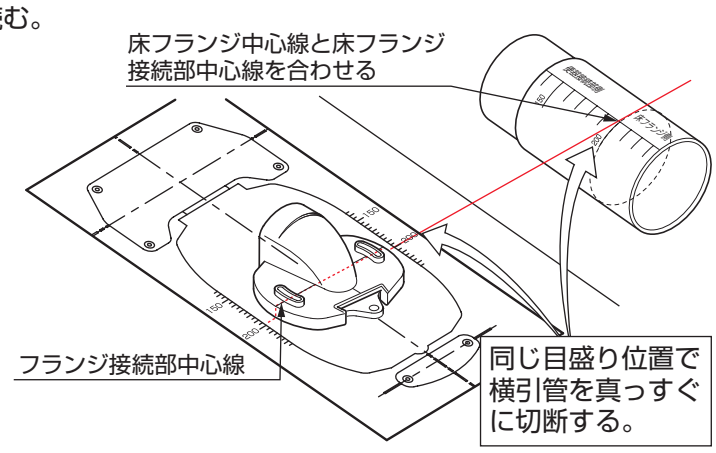
※取付基準線の位置決めは左右2カ所で行ってください。

2 横引管の切断

❶床フランジ接続部を既設フランジの中心に合わせて仮置きする。

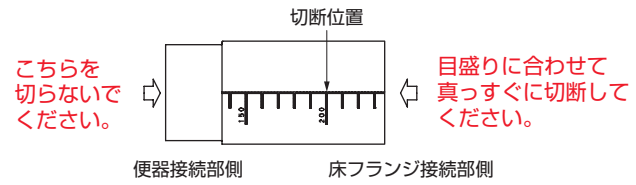


❷床フランジ接続部の中心線が示す位置決めシートの値を読む。



❸値と同じ目盛りで横引管をカットする。
135mmの場合、横引管は不要です。
（便器接続部と床フランジ接続部を直接つないでください）
235mmの場合、横引管は切断不要です。（そのままお使いください）

（例）上図測定寸法が200mmの場合



切断後、端部のバリを完全に取り除いてください。

3 位置決めシートで取付穴位置をけがく

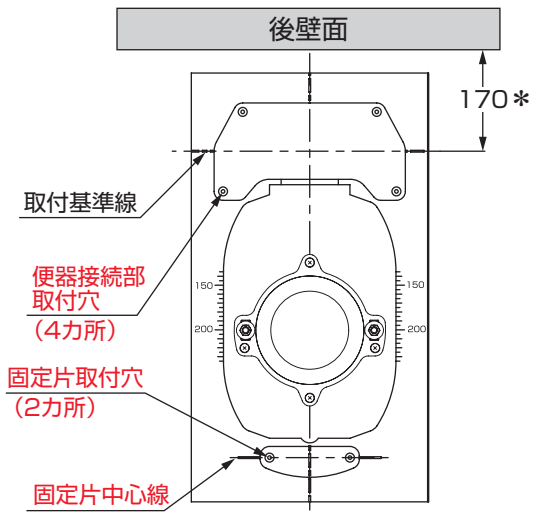
❶便器接続部および固定片の取付位置、固定片の中心線をけがく。

＊取替用止水栓がタンクと接触する場合は、後壁面から170＋35mm以上に合わせて置いてください。

❷便器接続部取付穴位置と固定片取付穴位置をけがく。

※床に木ねじをねじ込む前にφ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。

（単位：mm）



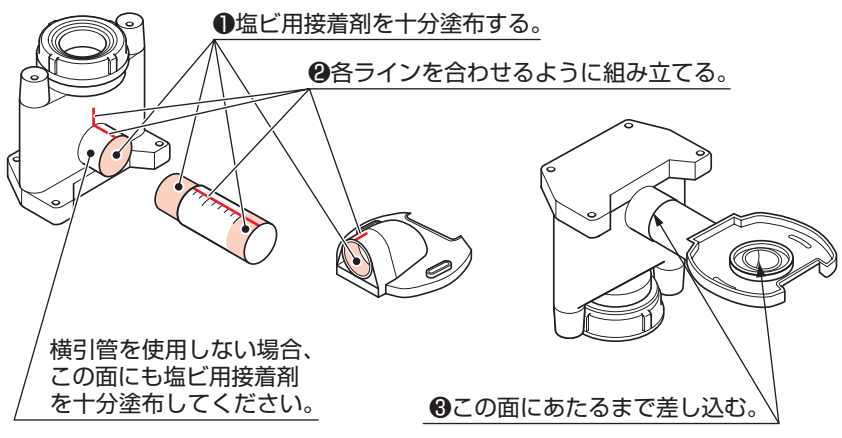
4 排水アジャスターの組み立て

⚠注意

必ず実行

横引管は最後まで、きちんと押し込む
接着が不十分だと水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

床面に対してガタツキがないように接着する
ガタツキが大きいと水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



5 固定片・排水アジャスターの取り付け

⚠注意

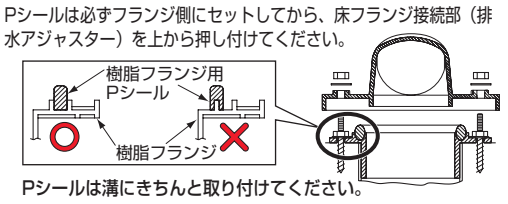
必ず実行

Pシール取り扱い上の注意

- **既設の床フランジのタイプに合わせ、金属フランジ用Pシールまたは、樹脂フランジ用Pシールを使用する**
- **既設のフランジタイプによって、Pシールの取付方法が異なるので注意する**

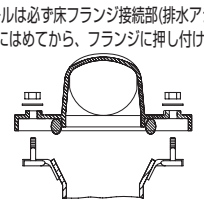
Pシールを間違えて取り付けると、洗浄不良などの不具合や便器が詰まり汚水があふれたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

（樹脂フランジ用）
Pシールは必ずフランジ側にセットしてから、床フランジ接続部（排水アジャスター）を上から押し付けてください。



Pシールは溝にきちんと取り付けてください。

（金属フランジ用）
Pシールは必ず床フランジ接続部(排水アジャスター)にはめてから、フランジに押し付けてください。



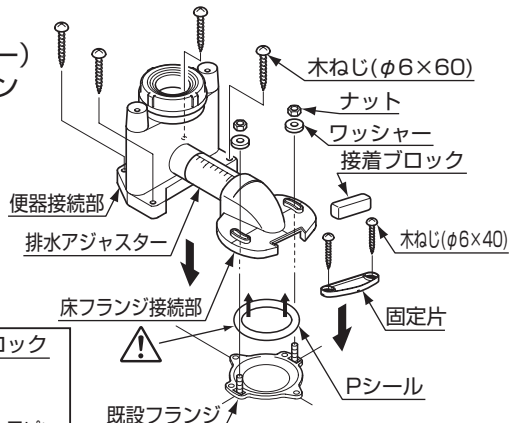
❶〈樹脂フランジの場合〉Pシール(樹脂フランジ用)をフランジにセットする。
〈金属フランジの場合〉Pシール(金属フランジ用)を排水アジャスターにセットする。

❷排水アジャスターをフランジに押し付けてから、便器接続部の取付穴(4カ所)に木ねじを入れ、確実に締める。

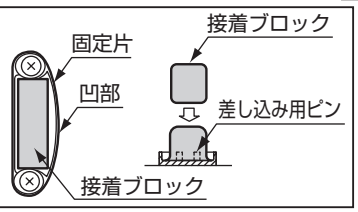
❸床フランジ接続部（排水アジャスター）を、ワッシャー・ナットで既設フランジに固定する。

❹固定片を所定の位置に合わせて、木ねじで床に固定する。

❺接着ブロックの広い面を下にして、接着ブロックを固定片の凹部のピンに差し込み、その後指で軽く押す。



固定片の凹部にはまるように、接着ブロックをセットしてください。

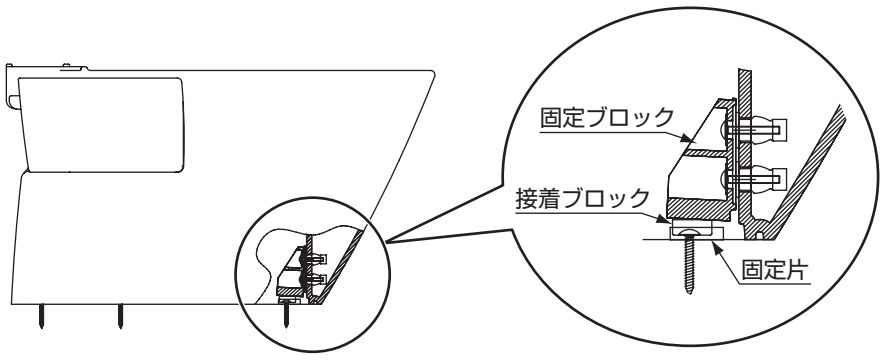


※気温が下がると接着ブロックが固くなることがありますので、このときは、20～30℃のぬるま湯の中に、包装袋ごと入れて柔らかくして使用してください。
※施工直後のやり直しの際は、接着ブロックの形を上図のように整えてください。
※接着ブロックの広い面はどの面を固定片に取り付けてもかまいません。

6 便器の取り付け

❶便器排水口および排水アジャスターの接続部周辺のごみや汚れを取り除き、便器排水口を便器接続部に差し込む。

❷便器が床につくまでしっかりと便器を押さえる。
便器を押さえ込むことで、接着ブロックがつぶされて固定されます。

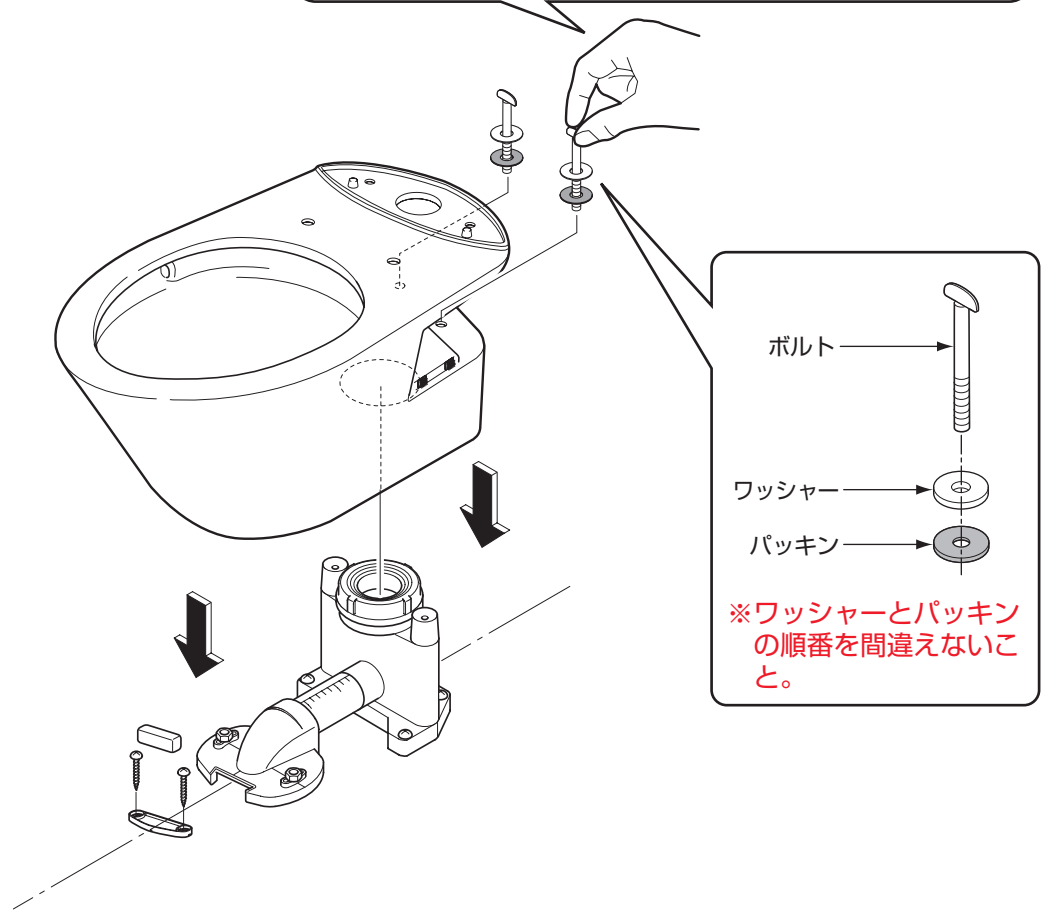


※接着ブロックが押しつぶされたあと、便器位置の微調整のために、便器を左右に数mmずらすことは可能です。

❸便器取付穴（2カ所）にボルト・パッキン・ワッシャーを差し込み、便器接続部に便器を固定する。

※お客様が便器を使用されたあとに便器を取り外した際は、再び設置するときに、新しい接着ブロック HH05069（オプション）に交換してください。

手締め でボルトを締め付けてください。
手締め 用のボルトなので、工具での締め付けはしないでください。
工具を使って締め過ぎると、便器接続部や便器が破損し、水漏れやけがをするおそれがあります。



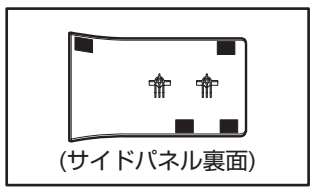
※ワッシャーとパッキンの順番を間違えないこと。

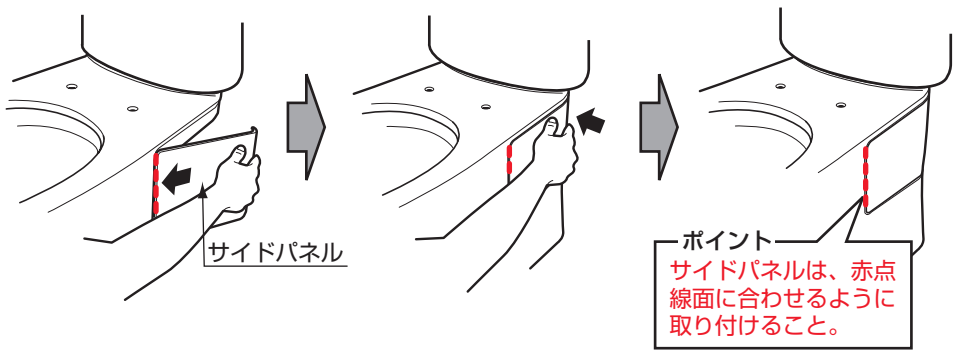
7 タンクの取り付け

タンクの取り付けに当たっては、タンクに付属の施工説明書に従う。

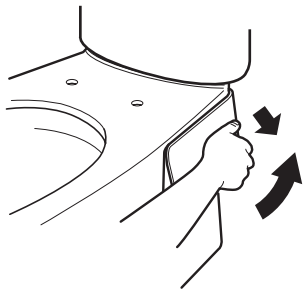
8 サイドパネルの取り付け／取り外し

＜取り付けかた＞
❶パネルを手前（イラスト参照）に合わせてセットする。
❷パネルをセットしたあと、面ファスナーの上を手で軽く押し当てる。


(サイドパネル裏面)

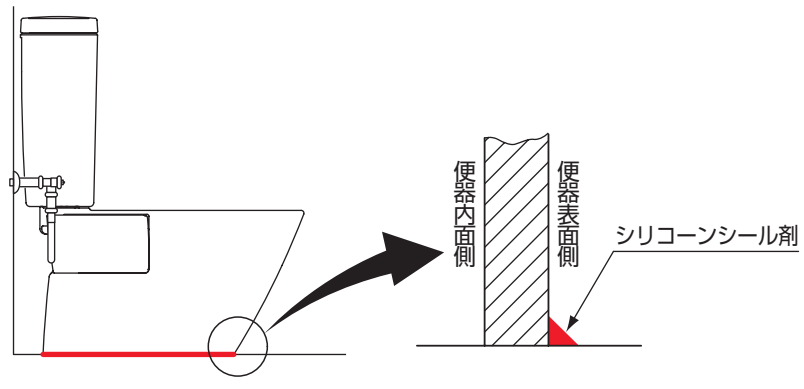


＜取り外しかた＞
サイドパネル後方を持ち外す。



取り付け後の確認

・試運転（洗浄）後、便器ボウル内に配管の切粉など異物がないことを確認してください。
もらいさびなど異物付着の原因となるおそれがあります。
・陶器表面に傷などがないことを確認してください。
陶器表面に金属類（時計のバンド、ベルトのバックルなど）が強く接触したり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡が付くことがあります。
スジ状の跡が付いた場合は、研磨剤入りの洗剤などで軽くこすって除去してください。
・施工したあとは、便器ボウル内に油などの見えない汚れ（コーキング剤、配管用接着剤など）の付く場合がありますので、トイレ用中性洗剤（研磨剤なし）を使って、必ず汚れをふき取ってください。便器ボウル面の洗い残りの原因となります。

お客様に快適に使っていただくためのポイント

便器袴下部と床のすき間に掃除の際の水や小水が入り込みますと、床シミの原因となりますので、便器袴下部周囲に防カビ性の透明シリコーンシール剤を塗布し水や小水の浸入を防止することをおすすめいたします。